

「しくみ」の構築レベル（試案）

<p>I 「しくみ」の総論レベル ※誰が何のために…</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●手引きや条例 <ul style="list-style-type: none"> ・協働の目的 ・協働の主体者 ・各主体者の役割 ・その他用語の定義 など
<p>II 「しくみ」の中間レベル ※どんな方法で…</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●協働手法 (企画・実践等各段階に応じた仕掛けとして 例) <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント制度 ・出前講座等まちづくり学習制度 ・地域懇談会 ・審議会等委員公募 ・事業サポーター ・住民モニター ・人材バンク ・施策提案制度 など ●協働推進ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会 など
<p>III 「しくみ」の各論レベル ※何を対象に…</p> <p style="text-align: center;">——協働するのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●協働に適しかつ住民ニーズを反映した事業メニュー選定 (例) <ul style="list-style-type: none"> ・公園づくり ・緑のボランティアネットワーク ・まちのバリアフリー化 ・地域ぐるみの子育てや高齢者見守り ・環境美化活動 ・地域産業活性化 ・バス交通の改善 ・地域防犯防災活動 ・事務のアウトソーシング等効率化 など

「Ⅰ 総論レベル」について（これまでの検討から）

1 何のために協働するのか？（目的）

三芳町が自立した活力ある町としてさらに発展していくためには、より多くの住民がまちづくりの主役として関わり、住民等と行政が「パートナー」として信頼関係を築くなかで、住民自治の意識が高まっていくことが必要です。

様々な立場の住民等が、まちづくり情報を共有し、様々な場面で、知恵と力を出し合いながら積極的にまちづくりに参画することで、自らが誇れる魅力ある町を創造していきましょう。

2 誰が協働を実践するのか？（主体者）

① 住 民

（町内に在住、在勤又は在学する個人）

② 団体・機関

（地域コミュニティ組織、NPO法人・農協・生協・商工会・社協等の公益団体、大学等の教育研究機関、まちづくりやボランティア活動を行う任意の団体又はサークル、その他政治・宗教・営利を目的とせず自発的かつ自立的に公益活動を行う集団）

③ 事業者

（町内に事務所又は事業所を有する法人又は個人）

④ 行 政

（町の庁内各課および出先機関）